

## 院内センター

---

# 救命救急センター

## センターの紹介 -----

当院の救命救急センターは1978年10月に九州で2番目の救命救急センターとして開設されて以来、北九州地域の三次救急医療体制の中核施設としての役割を果たしてきました。

当センターは北九州市西部地域の2次、3次救急を担う救命救急センターであり1. 救命救急医療、2. 小児救急医療、3. 災害支援医療を政策医療に掲げています。免震の大型屋上ヘリポートはヘリ搬送患者の受け入れ拠点として運用されています。また、病院敷地内には常設型救急ワークステーションが出来、北九州地域の救急業務メディカルコントロール体制における中核施設として活動を行なっています。

## センターの特徴・取組み -----

### ■若手医師の研修体制

初期研修医は、救急科研修を通じて、平日時間帯は救命救急センター担当医の指導助言のもと、センターに救急搬送された内科、外科系患者の診療に携わっています。救急科領域専門研修プログラム(八幡病院エキスパート研修プログラム)に基づき、専攻医が救急領域研修を行なっています。研修医、専攻医においては、初期対応患者が緊急手術となるような場合は、手術にも参加出来ます。また、専攻医は、病院前救護とメディカルコントロール体制を学ぶため、当院敷地内に設置されている救急ワークステーションにおいて消防救急車の医師同乗指導に参加します。

### ■救急救命士の実習体制

当救命救急センターは、北九州地域の救急救命士に対する再研修、就業前実習、薬剤認定救命士実習、救命救急九州研修所の病院実習など、年間90名以上の実習生を常時受け入れています。また、医師による診断内容の解説、救急外来・一般病棟業務、手術室業務の見学実習、臨床検査技師課、放射線技師課での研修など、搬送傷病者の病院収容後の診療経過が広く学べる体制となっています。

### ・常設型救急ワークステーション活動

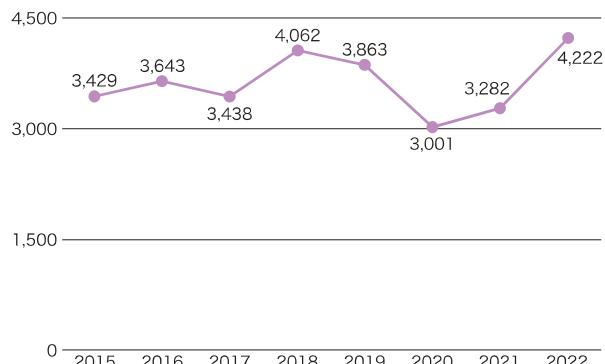
救急ワークステーション(WS)は、2008年6月に当院敷地内に開設されました。平日日勤帯は病院前医療、メディカルコントロール体制を熟知した当院のMC医師が常駐し、救急隊への同乗指導を行なっています。

## 令和4年 診療実績 -----

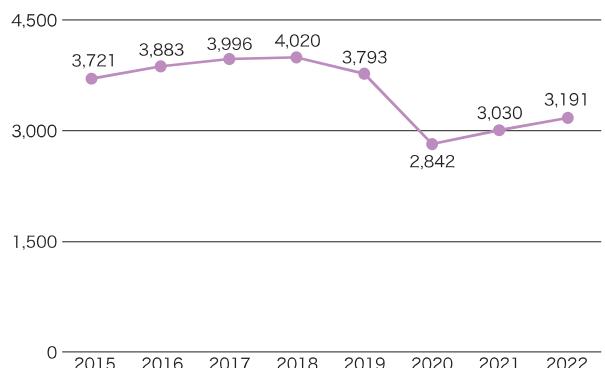
救急車搬送件数は平均3,600件/年です。成人のウォーキンを含めた救命救急センター受診者数は平均約5,300人/年、入院患者数は平均約3,500人/年です。新型コロナウイルス蔓延に伴い2020年と2021年は救急搬入件数、受診者数、入院数すべてが低下しました。2022年は受診者数、入院者数、救急車搬送数全て上昇し回復傾向にあります。特に救急車搬送数は4,222件と過去8年間で最も多い年となりました。

救命センター受診科別内訳では外科33.7%、小児科23.9%、内科17.3%、脳神経外科10.0%、整形外科9.5%、形成外科3.0%、泌尿器科2.2%でした。

年間救急車搬入件数

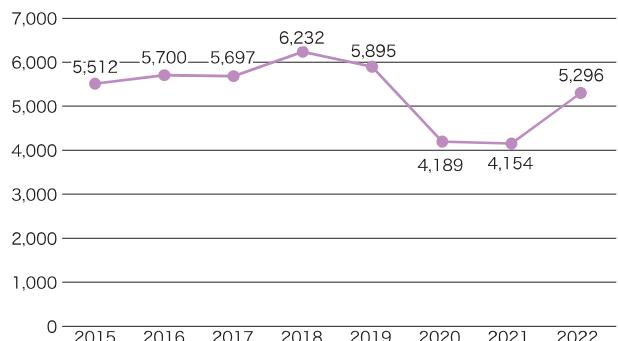


年間救命救急センター入院者数

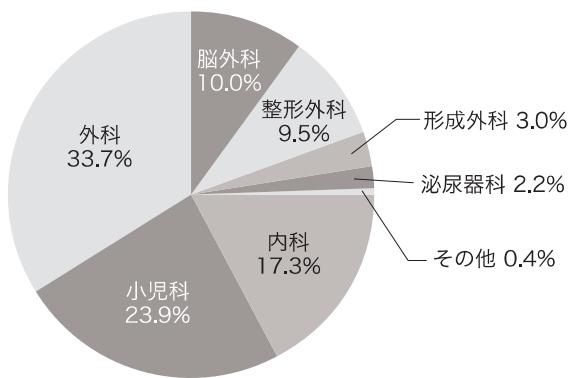


# 救命救急センター

成人年間救命救急センター受診者数



救命救急センター受診科内訳



## | スタッフ紹介 |



救命救急センター長  
統括部長  
**木戸川 秀生**  
きどがわ ひでお



救急科主任部長  
呼吸器外科主任部長  
**井上 征雄**  
いのうえ まさお



救急科部長  
**平松 俊紀**  
ひらまつ としき



救急科  
**岡本 健司**  
おかもと けんじ

# 小児救急センター

## センターの紹介 -----

当センターは、子どもに関するあらゆる急性期医療を24時間・365日提供しております。ウォークインのみならず、救急車搬送でもヘリコプター搬送でも受け入れられる体制を整え、地元の患者さんから遠方にお住まいの患者さんまでお引き受け出来ます。軽症から中等症の外来精査・治療、入院加療にとどまらず、小児集中治療室(PICU)では重症管理も行なっていますので、院外から重症患者さんはもちろん、院内で重症化した際にも迅速に集中治療をご提供いたします。

## センターの特徴・取組み -----

当センターの特徴は、①病院内に一次救急を担う急患センターを併設していること、②内因性・外因性疾患を区別することなく、急性期対応が必要なすべてのお子さんに対応していることです。

夜間休日急患センターを病院内に設けることで、外来診療で完結出来る精査・治療にとどまらず、緊急救手術・入院加療・高次医療機関への転院搬送まで、可能な限りの救急医療を迅速に提供出来ることが可能になります。

内因性・外因性疾患を区別しないことは、ご紹介いただく際に紹介診療科に迷うことなくご紹介しやすい利点があるだけでなく、小児科医がすべての初期診療に関わることで、外科系診療科との連携を密に取れることや、小児科的視点により外因性疾患に隠れた内因性疾患や社会的背景に対してナラティブにアプローチし、外因性疾患以外の治療や支援の提供につなげることが可能になります。特に中等症以上の場合には、全身状態を安定化させてからの治療・処置・手術が望ましい場合もございます。小児科医がすべての初期診療から関わることの意味はとても大きいと考えています。

このように当センターは急性期のどんなニーズにもお応えし、お子さんとその保護者が安心出来る医療の提供を心がけております。急性期対応が必要なお子さんをご高診された際には、直接ご紹介いただきか、お電話でご相談ください。

## お願い

当センターでは新型コロナウイルス感染症の入院加療も対応していますが、新型コロナウイルス感染症の検査を目的とした外来診療は行なっておりません。発熱など患者さんは翌日ご地元での検査をお願いすることもございますので、ご了承ください。

## | スタッフ紹介 |



小児救急センター長  
小児科部長  
**小林 匠**  
こばやし まさし



小児科部長  
小児集中治療室長  
**福政 宏司**  
ふくまさ ひろし

# 小児臨床超音波センター

## センターの紹介 -----

2023年4月1日。日本初の小児臨床超音波センターが開設されました。『小児科医』が『実臨床』の中で自ら『超音波検査』を行なうセンターです。今後的小児救急医療にはこのスタイルが必要と考え2011年から計画を進めてきたプロジェクトがとうとう形になりました。その付け人である故 市川光太郎名誉院長は『常に謙虚に』。という言葉をモットーにしておりました。当センターはその言葉を胸に、子どもたちの声なき声を超音波検査で聞く代弁者でありたいと思います。

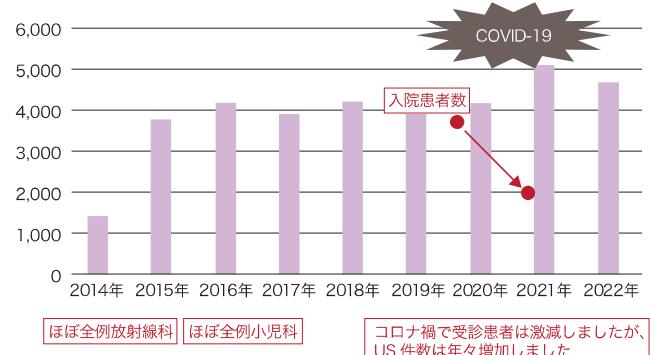
## センターの特徴・取り組み -----

自ら外来で、また他の担当医からの依頼やご紹介いただいた患者さんに対して、腹痛や嘔吐の原因、熱の原因はもとより、原因不明のしこり(腫瘍)や不機嫌、歩けない、など多くの訴えに対して超音波検査を施行いたします。原因が不明な場合でも、緊急性があるのかどうか、などを見分けていきます。また超音波検査も臨床医が行ないますので、その場で臨床的な追加治療や追加検査の説明や方針検討も行ないます(ダブルアイシステム)。そして、入院や外来などすべての患者さんに超音波検査を用いてプラス1の医療を提供出来ないかということを日々模索しております。

また、当院には小児超音波の研鑽を希望し全国から多くの医師が研修にきてくれます。週に1回、半年、1年、また後期研修医として3年間などいろいろなニーズに合わせて、診断をつける武器、そして診断エラーから防ぐ防具を得てもらうことを目標にしています。当センターの卒業生が全国で超音波検査を駆使し活躍しています。『どこの放射線科で超音波を学んだの?』『小児科でしか研修をしていません!』という嬉しいやりとりもあるようです。

## 診療実績 -----

小児超音波検査件数



- ・2014年 1,427件
- ・2015年4月 小児超音波のメッカ、茨城県立こども病院での研鑽を終了し北九州市立八幡病院へ再就職
- ↓
- ・2015年 3,797件
- .....
- ・2021年 5,137件
- ・2022年 4,718件

### 小児医療のパラダイムシフト

(例:虫垂炎)

2014年まではほぼ全例CT  
2015年からはほぼ超音波検査で診断

しています。

(例:腸重積)

診断から治療まですべて超音波で決着

## | スタッフ紹介 |



臨床小児超音波センター長  
小児科部長

小野 友輔  
おの ゆうすけ

小児科専門医・指導医で日本超音波医学会(総合領域)専門医・指導医を保持している医師は全国でも数名です。  
同学会での講演、シンポジウムをはじめ全国から講演やハンズオンセミナーの依頼が殺到しています。

### ■資格等

日本小児科学会専門医・指導医、日本超音波医学会(総合領域)専門医・指導医  
日本超音波医学会教育委員会、専門医制度委員会  
小児超音波研究会理事  
茨城こどもECHOゼミナール副理事長

### ■受賞歴

2015、2016年 超音波医学会(九州ブロック)  
YIA(young investigators award) 最優秀賞(2年連続)  
2017年 第26回 canonメディカルシステムズ 画論 優秀賞  
2018年 小児超音波研究会 best image 最優秀賞  
2019年 第27回 canonメディカルシステムズ 画論 最優秀賞受賞  
2021年 第29回 canonメディカルシステムズ 画論 優秀賞

# 消化器・肝臓病センター

## センターの紹介-----

～消化器疾患・肝臓疾患の専門医・薬剤師・看護師が連携して診療します～

消化器・肝臓病センターは2011年11月に各種消化器疾患・肝臓病を総合的に、専門的に、かつ先進的に医療を行なうため開設されました。胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆嚢癌、胰臓癌、胆管癌等の悪性腫瘍に加えて、胃・十二指腸潰瘍、胆石症、ウイルス肝炎、肝硬変、脾腫、食道靜脈瘤、脾炎、胃・十二指腸逆流症、大腸ポリープ、大腸憩室症等の良性疾患に対して消化器内科、消化器外科、肝臓外科、胆道外科、脾臓外科、内視鏡外科、放射線科の各診療科の密で機動的、横断的な連携により、高度な診療体制を構築するとともに、がん薬物療法認定薬剤師や看護師等とともにチームワーク良く診療を行なっています。

また、救命救急センターと密な連絡をとり、腹膜炎、急性胆管炎、急性胆嚢炎、急性脾炎、急性腸炎等の急性腹症、吐血、下血、腹部外傷なども消化器の専門性を活かしながら、診療を行なっております。

開設後すでに11年経過しましたが、手術件数、内視鏡件数、癌化学療法件数、緊急入院件数等は順調に増加しており、地域の皆様に役に立つ消化器疾患、肝臓疾患の専門センターとして今後とも機能していく予定です。

さらに、新病院移転後の2018年12月からは、西日本最大の広さと機能を持つ血管造影とCT撮影を備えた手術室(ハイブリッドオペレーションルーム)を新設し、出血疾患や外傷に対応するとともに、塞栓手術やCT併用の腫瘍焼灼術なども症例を伸ばしています。

## 診療の3本柱-----

①放射線専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、消化器外科専門医による検査・診断

②消化器内視鏡専門医、消化器がん外科治療認定医、消化器外科専門医、肝胆脾外科高度技能指導医、内視鏡外科学会技術認定医等による内視鏡治療、腹部各領域のがん手術、腹腔鏡手術、放射線専門医が行なうカテーテル治療

③がん化学療法認定医、がん治療認定医(教育医)、消化器病専門医、肝臓病専門医、がん薬物療法認定薬剤師や看護師が共同で行なう、がん化学療法、分子標的治療、肝炎インターフェロン治療、肝炎抗ウイルス療法(インターフェロンフリー療法)等の薬物治療

## | スタッフ紹介 |



院長  
消化器・肝臓病名譽センター長  
**岡本 好司**  
おかもと こうじ



統括部長  
救命救急センター長  
**木戸川 秀生**  
きどがわ ひでお



消化器外科主任部長  
消化器・肝臓病センター長  
**野口 純也**  
のぐち じゅんや



外科主任部長  
**山吉 隆友**  
やまよし たかとも



小児外科主任部長  
**新山 新**  
しんやま しん



外科部長  
**上原 智仁**  
うえはら としひと



放射線科主任部長  
**今福 義博**  
いまふく よしひろ



放射線科部長  
**神崎 修一**  
こうざき しゅういち



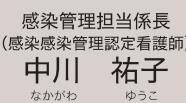
内科  
**馬場 三男**  
ばば みつお



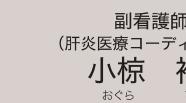
薬剤課課長  
(がん薬物療法認定薬剤師)  
**原田 桂作**  
はらだ けいさく



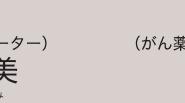
薬剤課課長  
(がん薬物療法認定薬剤師)  
**末吉 宏成**  
すえよし ひろあき



感染管理担当係長  
(感染感染管理認定看護師)  
**中川 祐子**  
なかがわ ゆうこ



副看護師長  
(肝炎医療コーディネーター)  
**小椋 裕美**  
おぐら ひろみ



副看護師長  
(がん薬物療法看護認定看護師)  
**福永 聰**  
ふくなが さとし

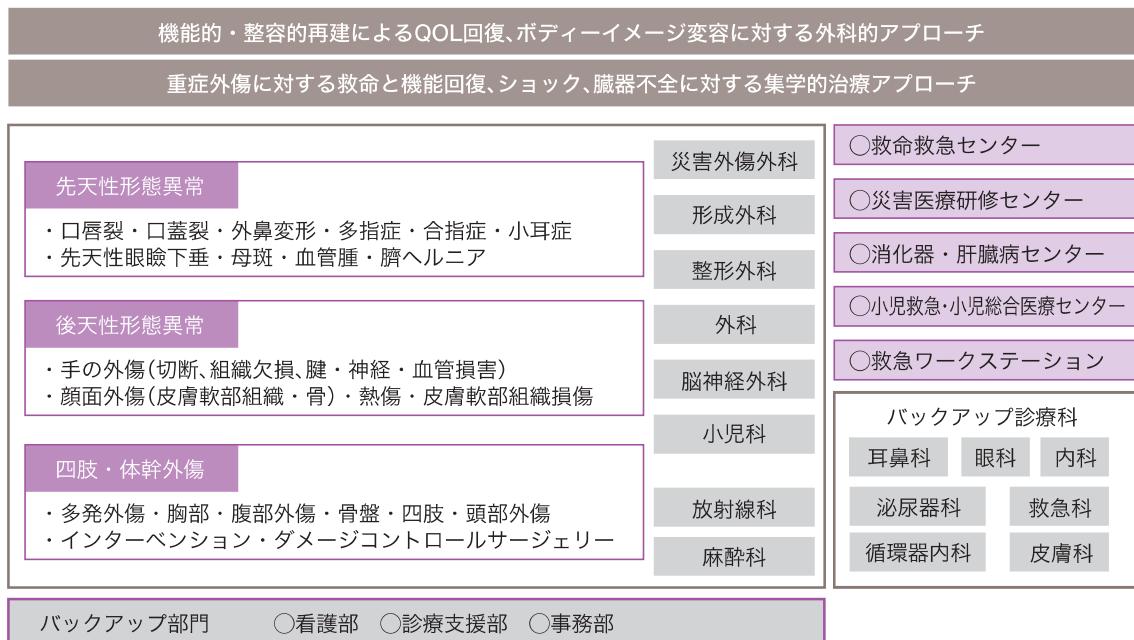
# 災害外傷外科、外傷・形態修復・治療センター

## センターの紹介 -----

外傷やその他の形態異常によって、患者さんはQOL(クオリティ オブ ライフ、生活の質)を損なわれることがあり、身体の形態におよんだ変化によって患者さん自身には様々なストレスを感じることになります。

「外傷・形態修復・治療センター」では、先天的な形態異常や後天的な外傷・手術後の変形などに対し、チームとして機能的・整容的な再建を行なうことで患者さんのQOL回復を目指します。

## 組織様式と主な対象疾患 -----



※災害外傷外科は、外科系外傷治療に加え、IVRやショック、急性腎不全など集学的治療を担う

## | スタッフ紹介 |



災害外傷外科、外傷・形態修復・  
治療センター長  
統括部長  
形成外科主任部長  
**田崎 幸博**  
たさき ゆきひろ

## 診療支援部

---

# 薬剤課

## 部門の紹介

薬剤課スタッフ一同、薬学的視点から医薬品の有効性・安全性を確保することを基本姿勢とし、救急医療に対応するため24時間の勤務体制でチーム医療に貢献しています。がん化学療法では、がん薬物療法認定薬剤師・外来がん治療認定薬剤師が協動し抗がん剤の無菌調製やレジメン管理・有害事象防止の提案を行ない安心・安全な化学療法を提供しています。抗菌化学療法認定薬剤師を含む課内感染チームが感染制御に携わり、高度医療(医薬品)安全推進者の認定を受けたスタッフが医療安全・医薬品安全を推進しています。DMAT(災害派遣医療チーム)の業務調整員も在籍し、災害発生時の対応も行なっています。NST(栄養サポートチーム)専門療法士は薬学的見地より薬剤の処方内容を検討するとともに、輸液製剤・経腸栄養剤と薬剤との相互作用の検討を行ない、患者の回復を栄養面から支援します。糖尿病、アレルギー疾患、心不全、腎臓病の各療養指導士もそれぞれの分野で活躍しています。このように当課では専門・認定薬剤師の取得を支援しています。今後は地域の保険医療機関や保険薬局との連携を強化していきたいと考えております。

## 主な業務内容

### ■調剤業務

処方監査をし、薬剤の減量等が必要な場合は医師に疑義照会した上で調剤します。計数調剤管理システムや散葉監査システム、錠剤自動分包機、散葉自動分包機、散葉調剤ロボットも導入しています。

### ■外来薬剤指導

がん治療に係る説明や、吸入薬・インスリン等各種デバイス等の説明を行なっています。

### ■製剤業務

市販がない製剤を医療現場からの要望により、妥当性を評価し調製しています。また、入院小児患者さんに使用されるTPN(経静脈栄養法)の輸液調製を行なっています。

### ■医薬品情報業務

最新の医薬品情報を整理し、必要な情報を迅速に提供します。また薬事委員会の事務局として医薬品の採用に係る審査を行ないます。

### ■病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務

病棟の専任薬剤師が持参薬・薬物相互作用・副作用歴・アレルギー歴・喘息の既往、検査値の確認を行ない、退院するまで継続して検査値、薬物有害事象の確認を継続し、処方提案を積極的に行ないます。医師・看護師などへの医薬品情報の提供、病棟における医薬品管理などを行なっています。カンファレンスや回診にも同行します。

### ■抗がん剤等の無菌調製およびモニタリング

医師から申請されたレジメンを審査し、登録を行ない、その情報に基づき、各患者の状態に応じた抗がん剤の無菌調製を行ないます。リーフレットを用いた投与スケジュールや予測される副作用について説明し、抗がん剤投与後も有害事象をモニターし支持療法を提案しています。

### ■治療薬物モニタリング

抗菌化学療法等、適正な薬物療法のため薬物の血中濃度から投与設計・モニタリングを行ないます。アミノグリコシド系薬剤等は腎臓の機能に合わせた投与量が必要とされ、MRSAに使用されるパンコマイシン等は抗菌力を発揮するためには十分な投与量が必要とされます。薬剤師は体重や腎機能に合わせた投与量の設計を実施し、医師に提案しています。

### ■入院支援センター業務

予定入院患者さんの常用薬、副作用歴、休薬が必要な薬剤の確認などを行ない、必要な説明や情報提供を行なっています。

### スタッフ紹介



薬剤課 課長  
原田 桂作

はらだ けいさく

## 特徴・強み

薬剤課の特徴・強みとして、小児の薬物療法に注力していることです。小児薬物療法認定薬剤師も在籍し、患児だけでなく、保護者に対しても医薬品に関する説明や助言・教育を行なっています。小児領域の薬物療法は、長期にわたるがん化学療法の管理や成長ホルモンや吸入のデバイス説明、糖尿病療養指導、臨床試験への参加など多岐にわたり、成人とは異なる難しさがあります。なかでも小児のがん化学療法を専門的に行なえる施設は全国的にも少なく、当院の特徴の一つと言えます。薬剤師が、がん化学療法に密接に関わることで患児やご家族のQOLがあがり、レジメン遂行の達成率もあがると考えられます。

成人の患者さんにも同様な手厚い病棟薬剤師業務を実践しています。退院後の薬物療法が安全に行なえるように八幡薬剤師会とも密接に連携をとっており、定期的に薬葉連携会を開催しています。

薬学生の教育に力を入れており、年間最大9名の長期実務実習生(11週間/II、III、IV期)を受け入れ、病院薬剤師として必要な知識・技能を習得出来るよう指導を行なっています。

## 令和4年度 業務実績

処方箋枚数(入院)	4,868.2枚/月
処方箋枚数(外来)	5,995.2枚/月(うち院外5,926.2枚/月)
注射処方箋枚数(入院)	5,057.8枚/月
注射処方箋枚数(外来)	998.3枚/月
抗がん剤調製件数	1,019件
がん患者管理指導料3算定件数	20件
病棟薬剤業務加算1算定件数	13,927件
薬剤管理指導算定件数	
薬剤管理指導料(325点)	5,336件
薬剤管理指導料(380点)	6,471件
退院時薬剤情報管理指導料	4,538件
麻薬管理指導加算	132件
T D M 解析業務件数	112件
吸入指導件数	353件
インスリン・SMBG指導件数	63件
成長ホルモン・デバイス指導件数	1件
骨粗鬆症デバイス指導件数	1件
入院支援センター面談件数	358件
薬学部実務実習生受け入れ	5名

## 資格認定者数

専門資格名	人数
認定実務実習指導薬剤師	3名
日本医療薬学会認定医療薬学専門薬剤師	1名
日本臨床栄養代謝学会認定NST専門療法士	1名
日本医療安全学会高度医療安全推進者	1名
日本医療安全学会高度医薬品安全推進者	1名
日本病院薬剤師会認定がん薬物療法認定薬剤師	2名
日本臨床腫瘍学会認定外来がん治療認定薬剤師	2名
日本化学療法学会認定抗菌化学療法認定薬剤師	1名
小児薬物療法認定薬剤師	3名
日本救急医学会認定救急認定薬剤師	1名
日本災害医学会認定災害医療認定薬剤師	1名
日本災害医療薬剤師学会災害医療支援薬剤師	1名
日本救急医療医学会ICLS	3名
アレルギー疾患療養指導士	2名
日本循環器学会認定心不全療養指導士	1名
腎臓病療養指導士	1名
日本糖尿病療養指導士(CDEJ)	2名
福岡県糖尿病療養指導士(LCDE)	2名
肝炎治療コーディネーター	6名
介護支援専門員	1名
第二級陸上特殊無線技士	1名
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	9名
日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師	2名

# 臨床検査技術課

## 部門の紹介

臨床検査技術課は男性6名、女性21名の臨床検査技師と、受付担当の女性3名で業務にあたっています。20～30歳代が半数を占め、定年退職後再任用として頑張っている職員もいます。検査を通して病院機能に貢献出来るよう、誠実に真心を込めて検査に取り組み、皆様に安心・信頼される臨床検査技術課を目指し、全スタッフで日々努力しています。また、臨床検査技師を目指す学生の臨地実習を受け入れ、臨床検査技師育成にも貢献しています。

## 主な業務内容

### ■一般検査

尿・便・髄液・体腔液等の一般スクリーニング・ウイルス抗原迅速検査、遺伝子検査

### ■病理学的検査

組織検査・細胞検査・病理解剖

### ■血液学的検査

血球数算定・分類、凝固線溶系検査

### ■生化学的検査

血液化学検査・内分泌学的検査・腫瘍マーカー・感染症免疫学的検査

### ■生理機能検査

超音波検査・心電図検査・聴力検査・脳波検査・肺機能検査

### ■輸血検査

血液型・不規則性抗体スクリーニング検査・交差適合試験

### ■細菌学的検査

一般細菌培養・同定・感受性、抗酸菌培養・同定、遺伝子検査

## 特徴・強み

検体検査では、患者さんから採取された様々な検体を対象として、正確なデータを迅速に患者さんのもとにお届け出来るよう検査に臨み、質の高い検査を維持出来るよう努力しています。また、生理機能検査では、患者さんと直接接する検査なので、患者さんに対して十分な説明のもと安心して検査を受けていただけるよう心がけています。

当院は新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定も受けており、ルーチン帯は遺伝子検査法の一つであるTRC法を行ない、夜間帯はCPA患者や緊急OP等の対応のため、RT-PCR法を行ない迅速に結果報告しています。

病院の掲げる政策医療である救命救急医療と小児救急医療にも対応すべく夜勤者を2名配置し、24時間365日検査が出来る体制をとっています。また、災害支援医療に関しては、災害派遣医療チーム(DMAT)にも2名が参加しており、定期的な訓練等も行なっています。

## スタッフ紹介



臨床検査技術課 課長

荒木 猛

あらき たけし

## 令和4年度 業務実績

### 検査部門別件数

	一般検査	生化学検査	血液検査	生理検査	病理検査	細菌検査	時間外検査	総件数
4月	12,064	37,839	15,374	1,070	1,117	1,969	18,102	87,535
5月	12,718	37,459	15,381	1,025	1,033	2,138	18,807	88,561
6月	14,128	39,965	15,838	1,142	922	2,222	17,430	91,647
7月	13,582	40,295	16,098	1,084	955	2,615	21,022	95,651
8月	15,048	47,614	20,222	1,294	1,032	2,959	21,097	109,266
9月	13,646	41,403	16,652	1,037	1,177	2,141	18,755	94,811
10月	13,901	39,722	16,362	1,117	1,180	2,180	20,930	95,392
11月	13,777	39,864	16,183	1,185	1,001	2,114	21,789	95,913
12月	14,958	44,018	17,760	1,285	1,193	2,663	26,840	108,717
1月	13,187	41,959	17,324	1,147	948	2,585	24,211	101,361
2月	13,677	42,009	17,537	1,215	1,109	2,320	19,066	96,933
3月	15,338	45,278	18,028	1,425	993	2,166	19,970	103,198
合計	166,024	497,425	202,759	14,026	12,660	28,072	248,019	1,168,985
月平均	13,835	41,452	16,897	1,169	1,055	2,339	20,668	97,415

### 外来・入院別件数

	一般検査		生化学検査		血液検査		生理検査		病理検査		細菌検査	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
4月	9,836	2,228	25,140	12,699	9,340	6,034	886	184	373	744	1,158	811
5月	10,302	2,416	25,956	11,503	9,854	5,527	875	150	354	679	1,366	772
6月	11,656	2,472	27,899	12,066	10,466	5,372	923	219	423	499	1,470	752
7月	10,778	2,804	26,183	14,112	9,706	6,392	893	191	437	518	1,663	952
8月	11,674	3,374	29,474	18,140	11,495	8,727	1,045	249	439	593	1,764	1,195
9月	10,659	2,987	26,794	14,609	9,941	6,711	862	175	463	714	1,361	780
10月	10,519	3,382	26,018	13,704	9,837	6,525	910	207	483	697	1,372	808
11月	10,592	3,185	26,354	13,510	9,959	6,224	988	197	436	565	1,465	649
12月	11,492	3,466	28,373	15,645	10,277	7,483	1,051	234	460	733	1,668	995
1月	10,100	3,087	25,671	16,288	9,507	7,817	926	221	348	600	1,460	1,125
2月	10,113	3,564	25,437	16,572	9,607	7,930	991	224	399	710	1,192	1,128
3月	12,227	3,111	30,244	15,034	11,205	6,823	1,194	231	383	610	1,293	873
合計	129,948	36,076	323,543	173,882	121,194	81,565	11,544	2,482	4,998	7,662	17,232	10,840
月平均	10,829	3,006	26,962	14,490	10,100	6,797	962	207	417	639	1,436	903

## 資格認定者数

専門資格名	人数
細胞検査士	4名
認定超音波検査士	6名
認定輸血検査士	1名
健康食品管理士	1名
有機溶媒作業主任者	2名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	1名
認定臨床微生物検査技師	1名
感染制御認定臨床微生物検査技師	1名
特定病原体等の運搬責任者	2名
福岡県糖尿病療養指導士	1名
医療安全管理士	1名

# 放射線技術課

## 部門の紹介

放射線技術課は診療放射線技師23名、24時間体制で放射線業務を行なっています。主な検査内容はX線撮影、CT検査、MRI検査、RI検査、透視検査、血管造影検査、心血管造影検査です。患者の負担軽減を考慮しつつ質の高い検査を行ない、診療の支援が出来るよう努めています。

機器および運用を整備し、高度医療機器の共同利用のお役に立てるとしております。地域医療機関からの検査依頼をお願いいたします。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行しましたが、今後も感染対策には十分に注意してまいります。

## 主な業務内容

- ①X線撮影(4室)：一般撮影、デンタル、マンモグラフィー
- ②骨密度測定(1台)
- ③CT検査(256列：1台、64列：1台)
- ④MRI検査(1.5テスラ：1台)
- ⑤RI検査(1台)
- ⑥透視検査(2台)
- ⑦血管造影検査(バイプレーン血管造影装置と64列CT装置のハイブリッド手術室：1室)
- ⑧心血管造影検査(1台)

## 特徴・強み

放射線技術課では、各部門にチーフ担当者を配置し、特にCT検査、MRI検査部門には専従の技師を配置しており、質の高い検査を心掛けています。学会や研修に参加し、知識や技術の向上に励んでいます。

また、医療放射線被ばくの管理は大きな役割だと考えており、診療に適した検査を行ないつつ、放射線被ばくを低減するよう取り組んでまいりました。その結果、日本診療放射線技師会により2019年2月に「医療被ばく低減施設」に認定されました。福岡県では7番目、北九州市では2番目の認定となり、北九州市立八幡病院の努力の成果だと自負しております。

地域医療、救急医療に貢献出来るよう、すべての救急検査に対応出来る診療放射線技師を育成し、24時間体制で対応しています。患者とスタッフの安全を第一に考え、感染対策を徹底し、診療の一助となるよう努めてまいります。

## 令和4年度 業務実績

R4 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般 撮影	2,131	2,317	2,317	2,516	2,732	2,364	2,507	2,459	2,825	2,746	2,481	2,832	30,227
透視	179	154	159	137	170	132	152	144	148	167	149	168	1,859
CT	730	764	807	760	963	771	764	864	950	901	757	878	9,909
MRI	257	219	278	244	272	252	249	259	264	227	221	269	3,011
RI	17	10	24	12	20	19	21	11	14	16	18	23	205
血管 造影	3	4	5	3	5	3	2	6	4	6	4	5	50
心カテ	4	4	8	9	9	7	16	12	12	13	14	19	127
MMG	13	7	5	6	10	11	7	12	2	7	7	12	99
骨塙	28	5	23	20	19	19	20	17	20	20	21	31	243

## 資格認定者数

専門資格名	人数
第1種放射線取扱主任者	5名
検診マンモグラフィー撮影認定	1名
磁気共鳴専門技術者	3名
X線CT認定技師	4名
AI認定	2名
画像等手術支援認定	6名
救急撮影認定技師	1名
放射線管理士	2名
放射線機器管理士	1名
医療情報技師	1名

### | スタッフ紹介 |



放射線技術課 課長

榑林 斎

くれはやし ひどし

# リハビリテーション技術課

## 部門の紹介

当院は①救命救急医療(救命救急センター)、②小児救急医療(小児救急・小児総合医療センター)、③災害支援医療(災害医療研修センター)を政策医療に挙げています。

リハビリテーション技術課では主治医の指示により、主に入院患者さんの発症直後からの急性期・早期リハビリテーションをリスク管理に注意しながら実施し、患者さんの一日も早い社会復帰を目指しております。

スタッフ数：医師1名、理学療法士10名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、受付2名

## 主な業務内容

- リハビリ診療：疾患別リハビリテーション(運動器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患、心大血管疾患、廃用症候群)、がんのリハビリテーション、摂食・嚥下療法など。
- ICU、PICUなどへの早期離床・リハビリテーション介入。
- チーム医療への参加(病棟専従スタッフ配置、チームラウンド、カンファレンス、回診など)
- 各種委員会への参加

## 特徴・強み

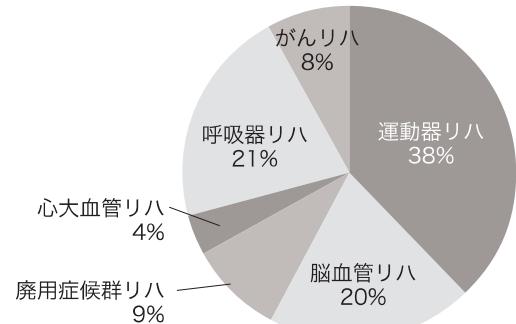
当院は急性期の地域支援病院で一般診療、小児科など様々な疾患の患者さんを受け入れている特徴があります。

2018年12月の新病院移転より、整形外科疾患の人工関節手術や関節内の手術などが行なわれるようになりました。術前・術後のリハビリテーションを積極的に行ない、患者さんのQOL向上につなげていけるよう頑張っております。

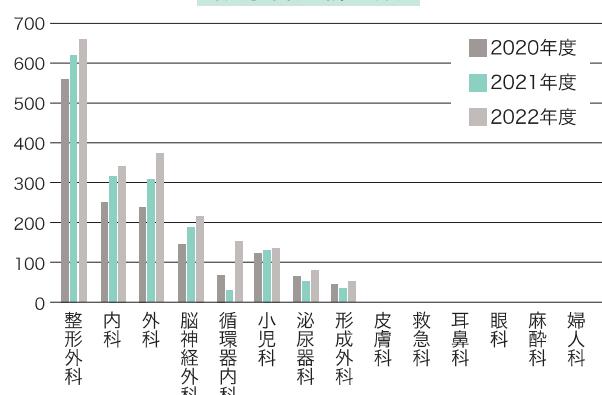
2020年9月より開始したコロナ患者さんのリハビリテーション直接介入についてはコロナの感染症分類が5類に移行後もこれまで通り専従スタッフの対応を継続していく予定です。

ICU、PICU等における早期離床・リハビリテーションを引き続き進め、病棟専従スタッフを順次、各病棟へ広げられるようにしていきたいと考えております。

## 令和4年度 業務実績



## 診療科別新患数



## 資格認定者数

専門資格名	人数
3学会合同呼吸療法認定士	PT5名、OT2名
心臓リハビリテーション指導士	PT2名
がんのリハビリテーション研修終了	PT8名、OT5名、ST1名
介護支援専門員(ケアマネージャー)	PT3名、OT1名
認定理学療法士(運動器)	PT1名
A-ONE認定評価者	OT1名
失語症者向け意思疎通支援者	ST1名
福祉住環境コーディネーター 2級	OT2名
骨粗しょう症リエゾンマネージャー	OT2名
精密知覚機能検査講習受講者	OT2名

## | スタッフ紹介 |



リハビリテーション技術課  
理学療法士長  
須崎 省二  
すざき しょうじ

# 栄養管理課

## 部門の紹介

医療の一環として、入院患者さんの栄養管理を行ない、安全でおいしい食事の提供を行なうと共に、入院および外来の患者さんに病態に応じた栄養指導を行なっています。

食事の提供は、業務の一部を委託(エームサービス株式会社)しています。

職員は、病院管理栄養士5名、委託会社管理栄養士5名、委託会社栄養士4名、委託会社調理師4名、委託会社事務1名、委託会社調理員27名(パート含む)の体制です。

## 主な業務内容

### ■食事提供

一人ひとりの病態や年齢、性別に合わせた食事の提供に努めています。

食欲の無い患者さんには聞き取りを行ない、主食の形態や量の変更のほか、栄養補助食品などの提供を行ない少しでも食べていただけるように心がけています。

### ■栄養指導

入院および外来患者さんに個別の栄養指導を行ない、一人ひとりの状態に合わせ食事療法の支援を行なっています。

## 特徴・強み

多くの患者さんに、ご自分の口で食べいただけるように、言語聴覚士、摂食嚥下障害看護認定看護師とともに嚥下食やソフト食の見直しに取り組み、学会基準に沿った嚥下食の提供に努めています。

食物アレルギーの有る患者さんには、安心して食べいただけるように、個別に献立を作成し提供を行なっています。

また、利用できる食種の制限はありますが、患者さん自身が選んで食べいただけるように、年末年始を除く毎日、朝食と夕食に選択食を行なっています。

その他、多職種との連携によるチーム医療の取り組みとして、栄養サポートチーム・褥瘡ラウンド、ICU・脳神経外科・小児科・循環器内科カンファレンス、外科回診などに参加し、患者さんの早期回復に取り組んでいます。

これからも一人ひとりの状態に適した食事の提供に努めてまいります。

## 令和4年度 業務実績

入院・外来患者栄養指導件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
88	68	90	64	66	58	64	63	68	65	61	64	819

## 資格認定者数

専門資格名	人数
福岡県糖尿病療法指導士	3名
アレルギー疾患療養指導士	3名

### | スタッフ紹介 |



栄養管理課係長  
日浅 実千代  
ひあさ みちよ

# 臨床工学課

## 部門の紹介

臨床工学課には、臨床工学技士6名が在籍しています。臨床工学技士は現在の医療に不可欠な医療機器に関する専門職であり、チーム医療の一員として診療技術支援および医療機器管理業務を行なっています。医療の進歩に付随して医療機器もより複雑化し専門性も増す中、それらを使用した検査・治療が安全かつ効果的に行なわれるような基盤整備を当課が担っています。

## 主な業務内容

- 医療機器管理業務
- 手術室業務
- 内視鏡室業務
- 循環器関連業務
- 人工呼吸器関連業務
- 各種血液浄化療法
- 血造血幹細胞採取
- チーム医療活動
- 医療機器安全管理責任者業務

## 特徴・強み

手術・検査・治療・療養の各場面で使用する医療機器の導入時評価や導入後の使用方法の周知に始まり、保守点検やトラブル対応、修理窓口、廃棄評価まで一手に担い、医療機器安全のマネジメントを行なっています。機器運用の効率化によるコスト削減も当課の重要な役割です。

また、当院は救命救急センター、小児救急・小児総合医療センターおよび消化器・肝臓病センターを有し、成人・小児・急性期・慢性期を問わず多種多様な病態に対処しています。当課では手術室、内視鏡室、心臓カテーテル検査室、重症系病棟、一般病棟において医療機器に関連する様々な診療技術支援を行なう事でその体制を支えています。

## 令和4年度 業務実績

業務内容	実績数
医療機器使用後点検	34,286件
医療機器定期点検	1,132件
医療機器修理	382件
医療機器トラブル対応	233件
手術室関連業務	551件
内視鏡関連業務	2,726件
循環器関連業務	241件
血液浄化関連業務	39件
人工呼吸器関連業務	
その他業務(各種委員会・チーム活動/医療安全ラウンド/医療機器研修会)	

## 資格認定者数

専門資格名	人数
消化器内視鏡技師	2名
周術期管理チーム臨床工学技士	2名
3学会合同呼吸療法認定士	2名
透析技術認定士	1名
体外循環技術認定士	1名
臨床ME専門認定士	1名
第2種ME技術者	5名
医療機器情報コミュニケータ(MDIC)	1名

## | スタッフ紹介 |



臨床工学技士長  
伊香 元裕  
いこう もとひろ

## 看護部

---

# 看護部

## 看護部長挨拶 -----

看護部は病院・看護部理念のもと「患者さん中心の視点」と「チーム医療の推進」を重要視し、日々の看護を実践しています。新型コロナ感染症は、5月8日から「5類」に移行されますが、当院は今までと同様に、感染症の患者さんの受け入れと同時に救急医療を担う事になります。当院の役割が十分に果たせるよう、看護部として高い感染対策のスキルを持ち日々の看護実践を行なっていきます。そして今後も、看護師一人ひとりが看護師としての役割と責務を考え、やりがいと誇りを持ち、組織の中で成長出来る事を目指しています。

### 【令和5年度 看護部目標】

- 1) 安全で質の高い看護の提供
- 2) 健康で安全に働き続けられる職場づくり
- 3) 病院経営への積極的な参加

## 看護部の方針 -----

八幡病院看護部は、救急医療の役割を担う病院としてチーム医療を推進し、円滑・効率的に協働するために研鑽を図り専門職として、倫理に基づいた科学的かつ主体性のある看護を目指しています。

### 【看護部方針】

- 1) 笑顔で相手の立場に立った看護を提供します
- 2) 自己研鑽に努め知識・技術の向上を図ります
- 3) 事故防止と感染予防に努め、安全な看護を提供します
- 4) 快適な療養環境を整え、患者サービスの向上を図ります
- 5) 地域との連携を図り、継続看護に努めます
- 6) 病院の健全経営に参画します

## 看護部の理念 -----

「救急医療の中核としての役割のもとに、生命の尊厳・人間性を尊重した、こころ温かい看護を提供します。」

# 看護部

## 教育体制について

今年度は、教育体制を一部変更し、「基礎研修」「専門研修」「役割別研修」の3つの柱で看護部教育委員会が中心となり、継続研修を行なっています。

特に、新人研修では、厚生労働省の「新人看護職研修ガイドライン」に準じた教育プログラムと、標準的な新卒看護師教育スケジュールパスを作成し研修と実施しています。

## 新卒看護師教育スケジュール

日本看護協会のJNAラダーを基に「クリニカルラダー」を導入し、質の高い看護の提供が出来るように、教育体制を強化しました。

新人研修の様子



### 【教育理念】

北九州市立八幡病院の看護部の理念に基づき、専門職業人として時代の変化に対応出来、市民に信頼される質の高い看護が提供出来る看護師を育成する。

### 【教育目的】

北九州市立八幡病院看護部の一員として責務を遂行するために必要な看護実践能力の獲得・維持向上および看護職の学習に対する要望を支援することを目的とする。



## 認定看護師の紹介

当院では、より質の高い看護の提供が出来るよう認定看護師の資格取得にも力を入れています。委員会活動や医療のメンバーとして院内を組織横断的に活動し、看護ケアの質向上・チーム医療の推進に貢献しています。また、院内に限らず地域への活動も積極的に行

なっています。

現在、小児看護専門看護師1名と特定行為研修修了者1名を含め9分野16名の認定看護師が活動しています。

### 【専門・認定看護師紹介】

小児看護専門看護師	1名	牛ノ浜 奈央
小児プライマリケア	3名	梶原 多恵、橋本 優子、伊與田 久美子
脳卒中リハビリ	1名	岩永 妙
クリティカルケア	4名	山下 亮、川崎 久美子、井筒 隆博、角田 直也
皮膚・排泄ケア	1名	穴井 恵美
感染管理	2名	中川 祐子、山田 友美
がん薬物療法	1名	福永 聰
摂食・嚥下障害	2名	最所 麻奈美、日畠 沙也加
認知症看護	1名	塩田 輝美
慢性心不全	1名	木原 朋香

## | スタッフ紹介 |



看護部長  
吉國 佐和子  
よしこく さわこ



(左から)

立石 美枝子(病床管理担当係長)  
高瀬 真弓(副看護部長)  
塩田 美樹(副看護部長)  
吉國 佐和子(看護部長)  
勝元 美佳(医療安全管理室担当課長)  
梶原 多恵(副看護部長)  
朝久 清美(教育担当係長)

## 地域医療連携室

---

# 地域医療連携室

## 地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室では、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう地域の医療機関・福祉施設などの関係機関と緊密に連携し、良質な医療の提供が行なえるよう調整・連絡を行なっています。また、地域医療連携室内に「前方支援」「後方支援」「患者支援」の3部門を設置しており、各部門の担当者が迅速に「連携」や「支援」が行なえるように体制を整えています。

高齢化が進む中で医療相談のニーズも高まっています。当院では医療相談室を設置し療養上のお悩み、療養生活上の妨げになる問題(経済的なこと、受診に関すること、療養環境など)について、専門的に相談に応じる体制を整えています。

## 地域医療連携室のスタッフ

### 管理スタッフ

地域医療連携室長(医師)

木戸川 秀生

きどがわ

ひでお

地域医療連携推進担当課長(看護師)

松嶋 久美子

まつしま

くみこ

### 担当スタッフ

#### 前方連携

- 医療機関からの診察や高額医療機器共同利用(CT・MRIなど)予約受付
- 患者さんに関する情報提供依頼への対応
- 紹介・逆紹介など地域医療連携に関するデータ管理

- 連携医療機関の登録に関する業務
- 病院の広報・涉外に関する業務
- 救急紹介患者さんの受け入れ調整

事務職

経営企画課担当係長

山崎 裕介

やまさき ゆうすけ

事務職

地域医療連携推進担当係長

大庭 光司

おおば こうじ

事務職

地域医療連携推進担当係長

山本 伸一

やまもと しんいち

事務職

永末 明日香

ながすえ あすか

事務職

石田 友美

いした ともみ

事務職

山田 理恵

やまだ りえ

事務職

宮津 亜実

みやづ あみ

#### 後方連携

■ 転院に関するご相談・連絡調整

■ 退院後の在宅医療・介護に関するご相談

■ 退院後の施設入所に関するご相談

看護師

地域医療連携推進担当係長

金屋 美千代

かなや みちよ

看護師

地域医療連携推進担当係長

岩永 妙

いわなが たえ

看護師

中村 桃子

なかむら ももこ

社会福祉士・主任

外山 陽子

とやま ようこ

社会福祉士・主任

野口 佳絵

のぐち かえ

社会福祉士

柴田 舞雪

しばた まいゆ

#### 患者支援

■ 患者の状況に応じた各種医療費助成制度の利用に関するご相談

■ 患者さんやご家族が抱える社会的・心理的・経済的な問題に関するご相談

■ 予定入院患者さんに関する状況把握・不安的要素の聞き取り・問題点の抽出などの対応

■ 児童虐待ケースの状況把握・援助方針などの進行管理・関係機関との連絡調整

看護師

地域医療連携推進担当係長

原田 かをる

はらだ

看護師・主査

植田 啓子

うえだ けいこ

看護師

川原 恵美子

かわはら えみこ

看護師

伏下 みき

ふしした

社会福祉士

山下 智子

やました ともこ

地域医療連携室へのご用命 フリーダイヤル 0120-41-6565

## 「在宅療養後方支援病院」のご案内

当院では診療所の先生方が在宅加療されている患者さん（原則として「在宅療養指導管理料」を算定されている患者さん）が、急性期医療を必要とする場合は、入院を含め24時間対応いたします。なお、やむをえず当院で入院加療が行なえない場合は、当院から他の医療機関への紹介をいたします。

### 在宅療養後方支援の体制

北九州市立八幡病院



入院  
退院

- ①入院希望患者さんの事前登録
- ②定期的な患者さんの情報交換
- ④診察の依頼

かかりつけ医



患者さん（在宅療養中）



かかりつけ医

- ③体調不良時、  
かかりつけ医に  
相談・受診

\* 入院希望患者登録される際は、以下の点にご留意ください。

- 以下の在宅管理料を算定されている患者さんが対象になります。  
在宅時医学総合管理料・特定施設入居時等医学管理料・在宅がん医療総合診療料  
在宅療養指導管理料（在宅自己注射指導管理料を除く）を入院前月又は入院月に算定
- 1人の患者さんが複数病院の入院希望登録は行なえません。
- 入院時に在宅患者緊急入院加算を算定します。（2,500点 入院時1回のみ）

### 1. 患者さんのご登録

地域医療連携室

北九州市立八幡病院

①入院希望届出書（様式1）（FAX）

連携医療機関  
(かかりつけ医)

②入院希望届出書（登録済）2部＊（郵送）

\* 2部：医療機関用・患者用

### 2. 診療情報交換

地域医療連携室

北九州市立八幡病院

①患者連絡票（様式2）（3ヶ月毎に郵送）

連携医療機関  
(かかりつけ医)

②患者連絡票（記入済）（FAX）

### 3. 診療のご依頼

連携医療機関（かかりつけ医）

診療情報提供書（FAX）

地域医療連携室 平日(8:30~17:00)

TEL : 0120-41-6565 (直通)

FAX : 093-662-1909 (専用)

救急外来 夜間・休日

TEL : 093-662-6565 (代表)

FAX : 093-662-1918 (専用)

北九州市立八幡病院

お問い合わせ先：北九州市立八幡病院 医療連携室 平日(8:30~17:00) TEL:093-662-0990(連携室直通)

## 病院概要・フロア一図

---

# 病院概要

## 概要

名 称	北九州市立八幡病院																								
所 在 地	〒805-8534 福岡県北九州市八幡東区尾倉二丁目6番2号																								
電 話 番 号	TEL 093-662-6565(代表) FAX 093-662-1796																								
開 設 年 月 日	昭和38年2月10日																								
院 長	岡本 好司																								
副 院 長	天本 正乃 ／ 岡部 聰																								
看 護 部 長	吉國 佐和子																								
事 務 局 長	瀬戸口 誠																								
開 設 者	地方独立行政法人 北九州市立病院機構																								
理 事 長	中西 洋一																								
構 造	地上7階(屋上にヘリポート)、鉄骨造(免震構造)																								
施 設 概 要	延床面積 約28,600m <sup>2</sup> 敷地面積 約24,000m <sup>2</sup>																								
病 床 数	350床(内訳) 一般病床:336床、ICU:6床、PICU:8床																								
職 員 数	712名(パート含む 令和5年4月1日現在) <table><tr><td>医師(歯科医師含む): 94名</td><td>臨床工学技士: 6名</td><td>視能訓練士: 1名</td><td>救急救命士: 3名</td></tr><tr><td>看護師(準看護師含む): 401名</td><td>歯科衛生士: 1名</td><td>児童虐待相談専門官: 1名</td><td>診療情報管理士: 4名</td></tr><tr><td>看護補助者: 22名</td><td>理学療法士: 10名</td><td>社会福祉士: 5名</td><td>事務: 66名</td></tr><tr><td>薬剤師: 24名</td><td>作業療法士: 5名</td><td>保育士: 8名</td><td></td></tr><tr><td>診療放射線技師: 22名</td><td>言語聴覚士: 2名</td><td>心理士: 2名</td><td></td></tr><tr><td>臨床検査技師: 29名</td><td>管理栄養士: 5名</td><td>子ども療養支援士: 1名</td><td></td></tr></table>	医師(歯科医師含む): 94名	臨床工学技士: 6名	視能訓練士: 1名	救急救命士: 3名	看護師(準看護師含む): 401名	歯科衛生士: 1名	児童虐待相談専門官: 1名	診療情報管理士: 4名	看護補助者: 22名	理学療法士: 10名	社会福祉士: 5名	事務: 66名	薬剤師: 24名	作業療法士: 5名	保育士: 8名		診療放射線技師: 22名	言語聴覚士: 2名	心理士: 2名		臨床検査技師: 29名	管理栄養士: 5名	子ども療養支援士: 1名	
医師(歯科医師含む): 94名	臨床工学技士: 6名	視能訓練士: 1名	救急救命士: 3名																						
看護師(準看護師含む): 401名	歯科衛生士: 1名	児童虐待相談専門官: 1名	診療情報管理士: 4名																						
看護補助者: 22名	理学療法士: 10名	社会福祉士: 5名	事務: 66名																						
薬剤師: 24名	作業療法士: 5名	保育士: 8名																							
診療放射線技師: 22名	言語聴覚士: 2名	心理士: 2名																							
臨床検査技師: 29名	管理栄養士: 5名	子ども療養支援士: 1名																							

## 標準診療科

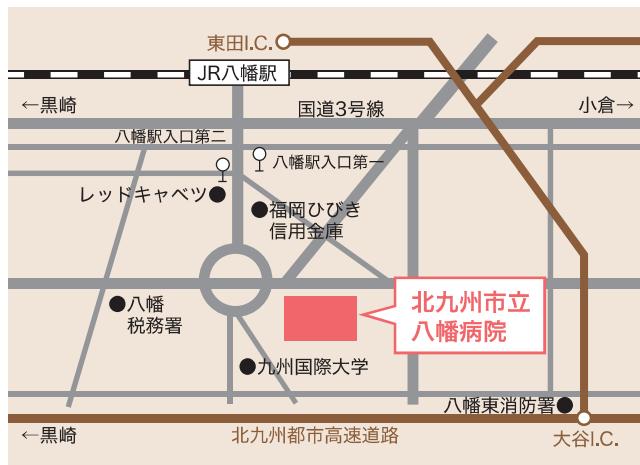
・内科	・肝臓外科	・整形外科	・眼科	・歯科
・循環器内科	・胆のう外科	・リハビリテーション科	・耳鼻咽喉科	・救急科
・小児科	・脾臓外科	・形成外科	・放射線科	・臨床検査科
・外科	・内視鏡外科	・皮膚科	・麻酔科	
・消化器外科	・小児外科	・泌尿器科	・精神科	
・呼吸器外科	・脳神経外科	・婦人科		

# 病院概要

## 学会等施設認定

- ・日本呼吸器学会関連施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- ・日本神経学会准教育施設
- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本外傷学会外傷専門医研修施設
- ・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本胸部外科学会認定施設
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本整形外科学会研修施設
- ・日本小児科学会専門医研修施設
- ・日本小児血液・がん専門医研修施設
- ・日本小児総合医療施設協議会会員施設
- ・日本形成外科学会認定医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本麻酔科学会麻酔指導病院
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・認定臨床微生物検査技師制度研修施設
- ・日本消化器内視鏡学会JED Project 参加施設
- ・日本心血管インターベンション学会研修関連施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・臨床研修指定病院
- ・NCD施設会員
- ・骨粗しょう症検診精密検査実施登録
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本プライマリケア学会認定研修施設

## アクセス



JR鹿児島本線  
八幡駅から徒歩9分



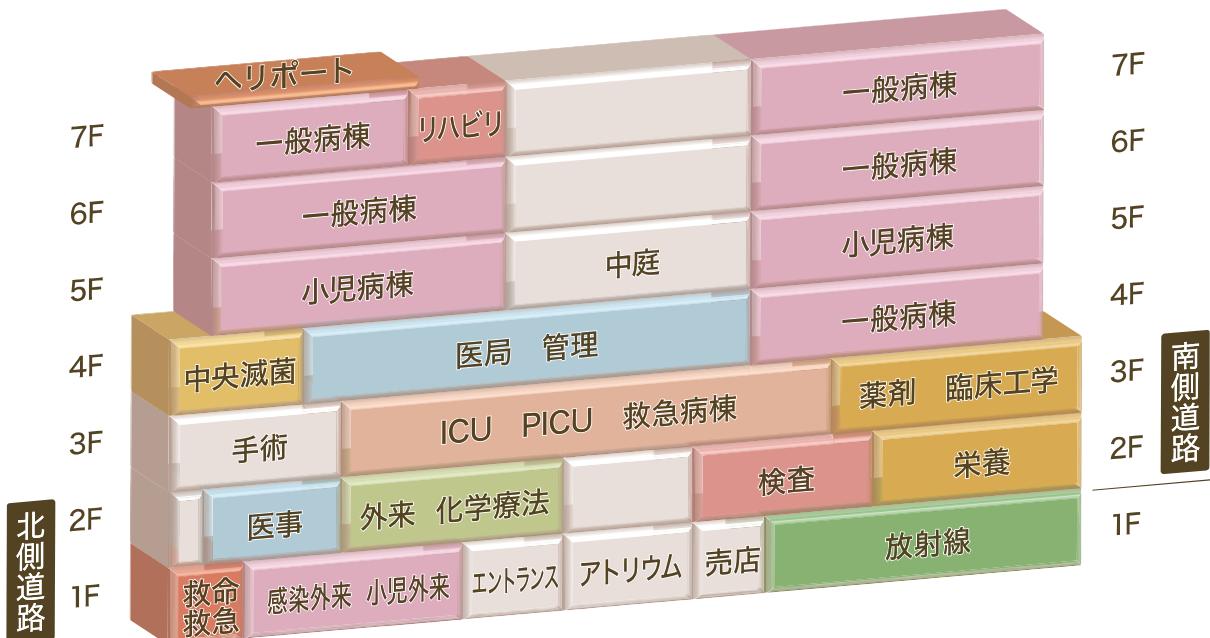
西鉄バス  
「市立八幡病院」病院敷地内  
「八幡駅入口第一・第二」から徒歩6分



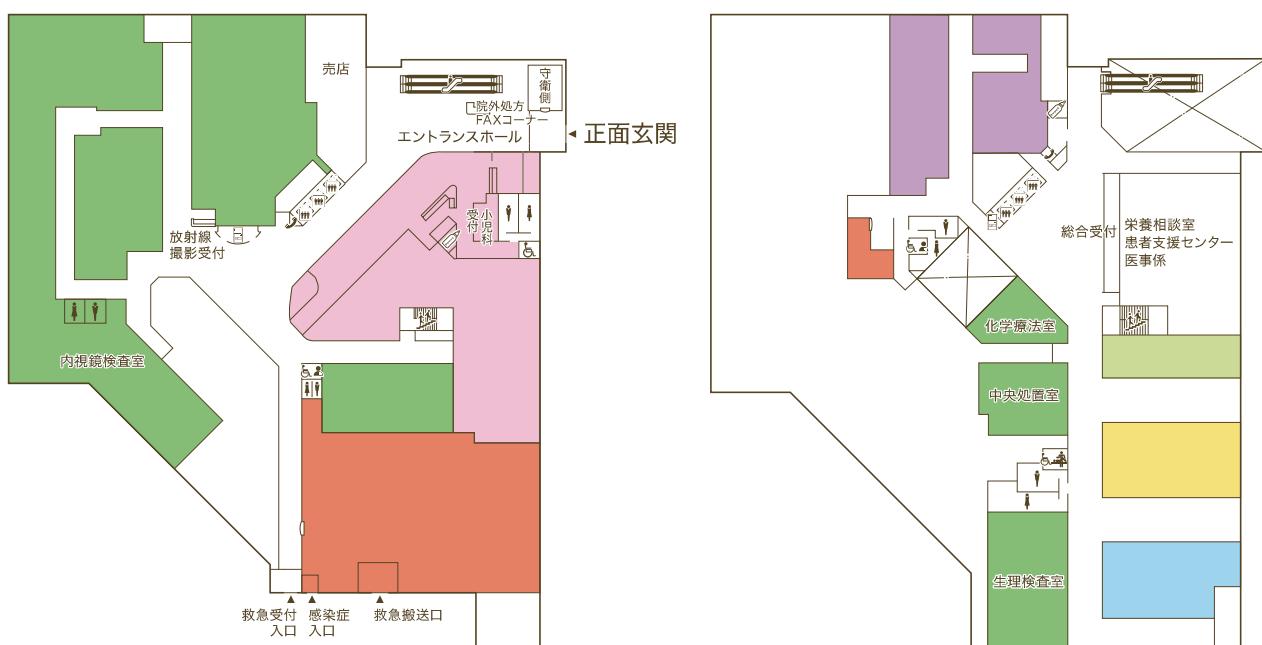
都市高速道路  
大谷インターから車で5分  
東田インターから車で5分

# フロアーフロアーフ

全面案内図



外来案内図（1階～2階）



- 男性トイレ
- 女性トイレ
- 多目的トイレ
- オストメイト対応

- 多目的シート
- 授乳室
- 公衆電話
- 自動販売機

- 小児科
- 救急科 災害外傷外科、外傷・形態修復・治療センター
- 精神科
- 婦人科 眼科 ペインクリニック 歯科 泌尿器科 耳鼻咽喉科
- 内科 循環器内科 心不全センター
- 外科 呼吸器外科 消化器外科 小児外科 消化器・肝臓病センター 形成外科 皮膚科
- 整形外科 脳神経外科



地方独立行政法人 北九州市立病院機構  
**北九州市立八幡病院**



Twitter



Facebook



Instagram